

令和7年度 江戸川区立第五葛西小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	(1) 深く考える子（思考力・判断力・表現力豊かで未知の状況にも対応できる子） (2) 仲よく助け合う子（実際の社会や生活で、人とのかわりを大切にする子） (3) すすんでやりぬく子（学んだことを人生や社会に生かそうとする子） (4) 体をじょうぶにする子（心身ともに健康でたくましい子）		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	○児童一人一人を大切にし、豊かな心を育む学校 ○確かな学力の定着を保証する学校 ○教員同士が学び合い、支え合い、高め合う学校 ○家庭、地域と協働して教育活動にあたる学校 ○心豊かで優しい子 ○身体も頭もきたえる子 ○最後まであきらめずに取り組む子 ○いつも笑顔を絶やさぬ子 ○児童一人一人を大切にし、使命感をもって教育にあたる教師 ○互いに学び合い、支え合い、高め合う教師 ○児童、保護者、地域から信頼される教師
前年度までの本校の現状	成果	国語科において、読解力を向上する校内研究を継続的に進めたことにより、児童が意欲的に文章を理解しようとする意欲が高まる、授業の工夫を全教員で研究し共有することができた。 体力の向上において、「パワフルチューズデー」やなわとび月間、ランニング月間など、様々な取組を計画・実施したことで、児童の運動意欲が高まり、体力の向上に繋がり、また活発に外遊びを楽しむ児童が増えた。	課題	授業力を向上させるため、OJT体制を再構築する必要がある。教員の資質・能力の向上をさらに図り、国語科教育の推進や児童の基礎基本の定着への一層の充実を目指す。 学校のみならず、家庭や本人の資質など多くの要因から不登校傾向のある児童が一定数存在するため、個に応じた対応の検討や充実を図ることが必要である。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得	・教科担任制の導入 ・電子ドリルや東京ベーシックドリルの活用（家庭学習も含む）	学年末テストにおける到達度80％以上の児童の割合+0.5% 教科担任による授業の実施…週1回 「ミライシード江戸っ子studyweek!」の実施…学期1回	70		B	・学年末テストは、主要4科目で8割を超えなかった。部会で、各学年の課題を共有したので授業で生かしていく。 ・高学年では教科担任の実施、児童の学習理解を学校全体で目指すことはできている。 ・studyweekも全体に投げかけ、実施できている。	A	東京都や江戸川区の水準に近づけるよう、教職員の方々の努力が見られる。 新しい取り組みが外部にも理解できるよう、成果を報告できるとよい。					
	「学力向上プロジェクト」の取組や補習などによる指導の充実と授業力の向上	・外部指導員と連携した放課後の補習 ・「江戸川区学力向上プロジェクト」のよむYOMUワーク ・江戸川区学力定着度調査の実施（4.5年生）と学習カルテにおける家庭との連携	補習教室（年35回） よむYOMUワーク、年間30回 学習カルテにおける、学習状況の把握と反復練習を1単元3回	70		B	・補習を継続することで、BC層の基礎基本の定着を図っていく。YOMUよむワークの実施は滞りなくできている。学習カルテの把握はできているが、復習が十分でないので、担任が点検するなどして、取りこぼしのないように指導していく。	A	パソコンやスマートフォン、SNSなどの普及の中で、年々取り組みが難しくなっているが、学校は地道に活動していると評価する。					
	読書科の更なる充実と読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・読書科年間計画の実施 ・読書月間の実施 ・保護者ボランティアによる読み語り、図書館整備 ・探究的な学習を取り入れた調べるコンクールへの参加	読書月間…年3回 読み語り…年12回 調べるコンクールへの応募…全学年 探究的な学習についての教員研修…年1回	90		A	・図書館の専門員のアドバイスで選書したり、全員で選書する機会を設けたり、学校全体で読書活動に積極的に取り組んだ。 ・図書室の展示を工夫し、呼びかけを行うことで調べる学習コンクールの参加率を上げることができた。	A	図書館のサテライトの導入で、本が身近になる環境ができていると評価している。					
体力の向上	「運動意欲の向上」に向けた取組の実施・充実	・運動遊び「パワフルチューズデー」の実施	実施年20回	75		B	暑さが厳しいときは時間を短縮して実施するなどし、できるだけ回数確保することができた。	B	猛暑で子供たちの体力づくりにも影響が出ることを心配している。					
	主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・なわとびチャレンジやランニング月間の実施	なわとび月間…学期ごとに期間を定め、年間3回ランニング月間…3学期に実施	70		B	前年度の反省を生かし、なわとび月間の取り組み方を変えた。前年度よりも意欲向上を図ることができた。	A	体力向上の取り組みを継続して意欲的に行って欲しい。					
	体力テストにおける東京アルファの円滑な導入・活用と運動技術の向上	・東京アルファを使用した体力テストの実施と、授業における手本動画の活用	体力テスト・・・タブレットを使用した動画での事前指導や数値把握	85		B	今年度も教員の実技研修を行ったことで、児童に適切に指導することができた。 東京アルファの活用については、ICT支援員の援助を積極的に受けられるようにしたい。	A	同上					
共生社会の実現に向けた教育の推進	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	・特別支援研修会の開催 ・特別支援タ会での情報交換（月1回） ・教室環境の整備、教材・教員の工夫	特別支援研修会…年3回 特別支援タ会…年10回	70		B	・夏季休業中に講師を招いての特別支援研修会を1度に行った。特別支援タ会でも、啓発に関わるような情報の伝達を3度行った。	A						
	エンカレッジルームの活用と校内の居場所作り	・エンカレッジルームの活用とエンカレッジサポーターの採用、育成	エンカレッジサポーターは常駐する 全教員で1時間ずつ受け持つ	90		A	・エンカレッジルーに大人が必ず居て、必要に応じてサポートをする体制が出来ている。	A	それぞれの個性に合わせた、個別最適な学びの実現や指導について努力されている。					
	副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	・都立鹿本学園との副籍交流	副籍交流…間接交流・月1回、直接交流・各行事	70		B	・要望に応じ、交流内容を考え実施している。直接交流を実現させたい。	B						
不登校・	不登校対策の実施・充実	・生活指導連絡協議会での情報交換 ・不登校対策委員会の開催	生活指導連絡協議会年10回 校内生活指導タ会年40回 不登校対策委員会年5回	90		A	・生活指導上の問題についての情報を共有し対応している。 ・不登校対策委員会では、教職員の共通理解のもと対応している。	A						

[illegible]